

半自動梱包機 iQ-400シリーズ トラブルシューティング

iQ-400/iQ-400LA/iQ-400LB/iQ-400FC/iQ-400NA/iQ-400DT/iQ-400SUS



【修理調整作業時の安全上の注意】

- 修理調整等作業（以降「修理」）は必ず電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 高温の箇所がございます。手で触れることができるまで十分に冷ましてから修理を行ってください。
- 詰まったPPバンドを手で引っ張るなど、PPバンドに触れる際、エッジで手を切らないように注意をしてください。
- 電源OFFであっても部品を手動で動かす際は手を挟まないように十分に注意をしてください。
- 修理後や修理中に動作確認が必要になる際は、上面テーブルを取り付けた状態で、安全に十分注意を払い確認を行ってください。
- 修理を行っている作業員以外の方が誤って機械を動作させないように修理は1人で行って下さい。
- 取扱と運転に関しては、取扱説明書の諸事項に従い、正しく安全に取扱と運転を行ってください。

項目	チェック項目	ページ
• 電源が入らない	【チェック項目 1】	
	電源コードの状態はどうか 2
	ヒューズは切れていないか 2
	制御基板のLEDが点灯しているか 電源スイッチノイズフィルタの故障 2
• バンドが送れない	【チェック項目 2】	
	バンドリールのセットは合っているか 3
	バンド詰りがなく エラー表示ランプが点灯又は点滅しているか 3、4 4
• 機械が動かない	【チェック項目 3】 梱包する時に、バンドを差込んで作動するか 5
• 途中結束してしまう	【チェック項目 4】 引締め動作中の状況はどうか 制御基板ボリュームの調整 6
• バンドが接着しない	【チェック項目 5】 ヒーターに熱が来ているか ヒーターの交換、掃除方法 7、8
• バンドが切れない	【チェック項目 6】 リセットSWを押すことでバンドが切れるか カッター上刃・下刃の交換方法 9、10
• バンド幅の変更	【チェック項目 7】 バンド幅の変更方法 11
• フィードローラー	【チェック項目 8】 フィードローラーの交換方法 12
• 営業拠点一覧	 13

・電源が入らない。

【チェック項目 1】

電源スイッチを(入)にした際、電源ランプ(緑)が点滅又は点灯していますか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。



※電源ランプ(緑)が点滅/点灯しない場合。

■点検・修理方法

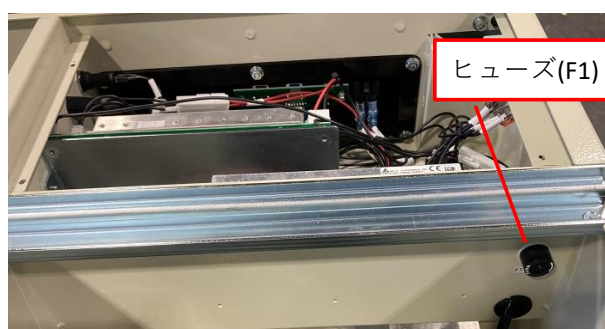
電源コードが断線していないかを確認します。またコンセントまで電圧が来ているか別のコンセントにつなぎ確認します。

(電源コードの被覆が破れているあるいはコンセントが破損している場合は、感電の恐れがありますので作業は行わないでください)

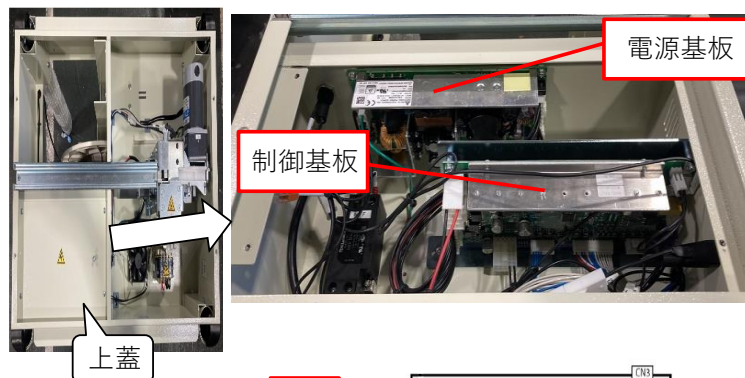
■点検・修理方法

電源スイッチを(切)にしてヒューズ(F1)を確認します。

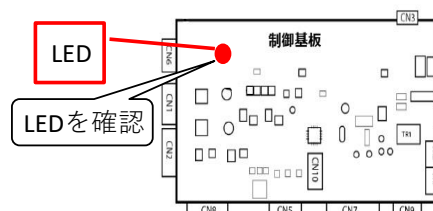
注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。(電源ONの状態ではヒューズの脱着を行うとショートする可能性があります。)



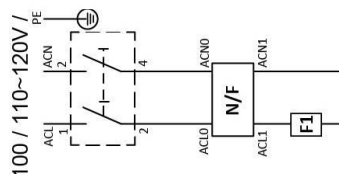
制御基板のLEDが点灯しているか確認します。



(上蓋を開け確認する際は、感電事故やショートによる基板等の損傷に御注意下さい。)



テスタ等で電源スイッチ及びノイズフィルタの状態を確認します。



※制御基板のLEDが点灯しているが電源ランプがつかない場合は制御基板の故障が考えられます。
 ※上記点検項目に問題が無く電源ランプ(緑)が点滅/点灯しない場合は電源基板の故障が考えられます。
 販売店またはストラパックの最寄り営業拠点(P.13参照)にご相談ください。

・バンドが送れない。

【チェック項目 2】

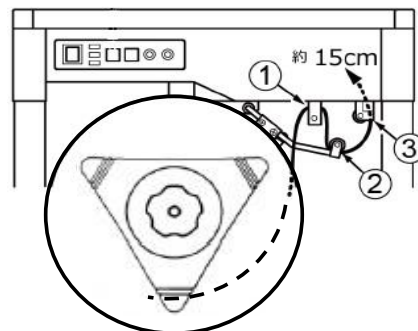
注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

バンドリール部のバンドセットの向きは合っていますか

①→②→③の順番で各ローラにバンドが通ってますか

バンドが下側から上がって①のローラに通ってますか

注意・機種によってバンドの通し方が異なります。

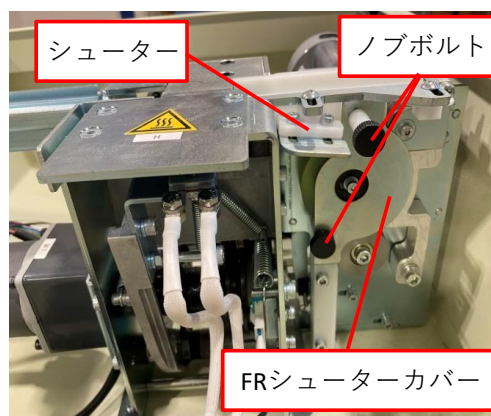


バンド詰まりがありませんか

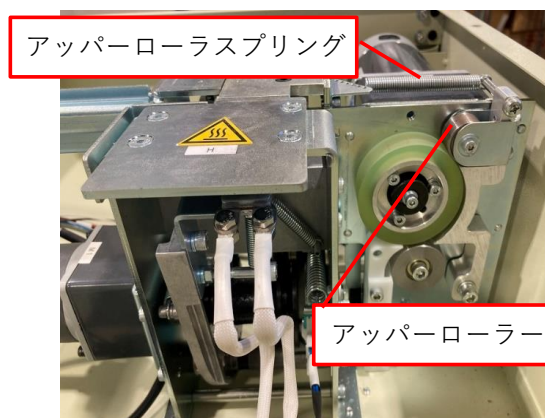
電源を必ずOFFにして作業を始めて下さい。

(バンド(づまり) 通路の除去方法)

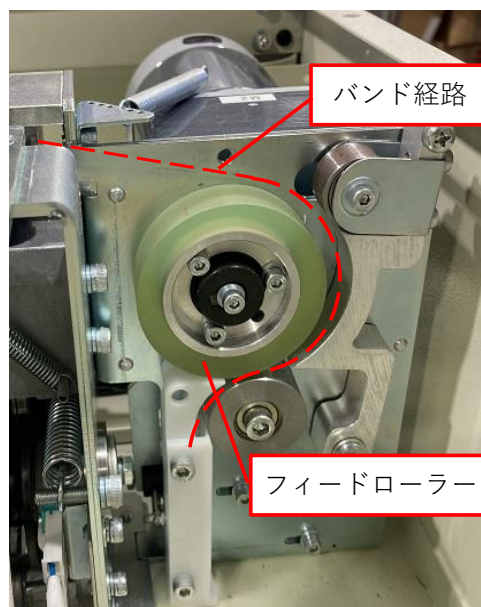
①ノブボルト2ヶ所を外してシューター及びFRシュータカバーを
外します。



②アッパーローラスプリングを外してアッパーローラを
開きます。

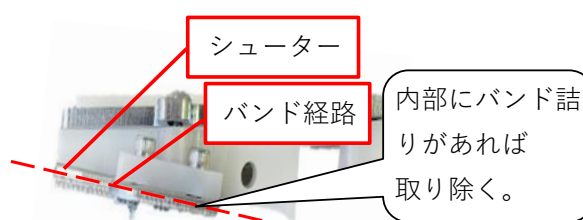


③バンドの経路にバンド詰りがあれば取り除きます。



④フィードローラーにバンドが巻付いている場合は取り除きます。

⑤シューター内部にバンド詰りがあれば取り除きます。



⑤バンド詰りの確認が終わったら再度取り外した部品の組付を行います。

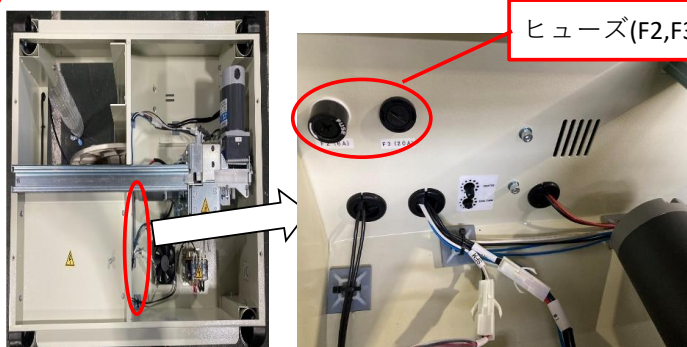
操作パネルのエラーランプは点灯/点滅していますか
点灯/点滅している場合、電源スイッチの入れなおし又はリセットスイッチを押して解除出来ますか



エラーランプ

ヒューズ(F2,F3)が切れていないか確認します。
(確認は電源を必ずOFFにしてから行って下さい。)

注意・機種によってヒューズのレイアウトが
異なります。



※操作パネルのエラーランプが点灯/点滅しているのが解消されない場合はモータの異常が考えられます。
その場合は販売店に連絡して下さい。

・機械が動かない

【チェック項目 3】

梱包させようとするときに、バンドを差込んで動作しますか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

■点検・修理方法(動作しない場合)

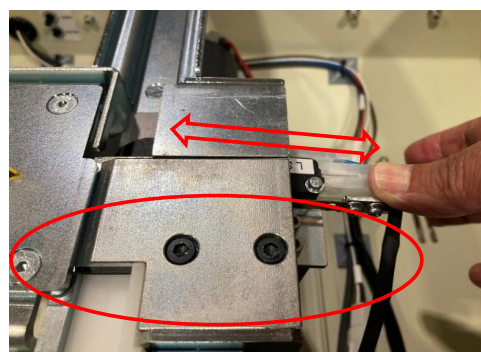
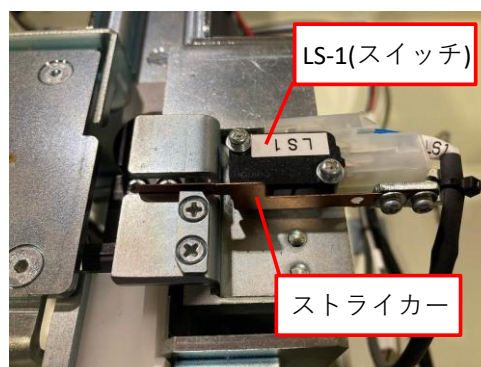
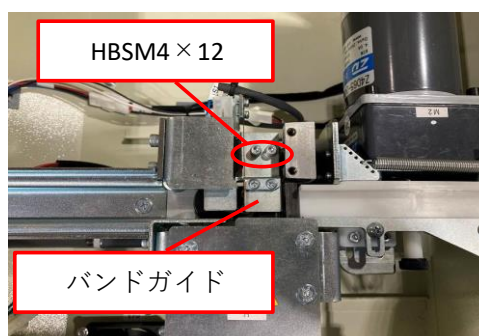
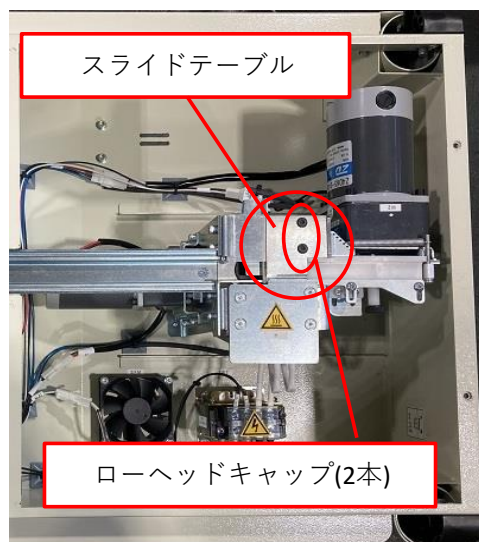
ストライカー又はLS-1(スイッチ)の破損、故障

(ストライカー、LS-1の確認方法)

電源を必ずOFFにして作業を始めて下さい。

- ①ローヘッドキャップ2本を緩めてスライドテーブルを外します。
- ②HBS M4×12を緩めてストライカー/LS-1がついているバンドガイドを外します。
- ③電源を投入してストライカーとLS-1の動作確認を行います。ストライカーを押してLS-1が入った場合、梱包動作が開始します。この際、バンドガイドアームが開くので挟まれに注意します。

梱包動作が開始する場合はLS-1は正常です。動作しない場合はLS-1の不良が考えられるためスイッチを交換します。
- ④ストライカーが変形していないか確認します。
- ⑤問題無い場合、取り外した部品の再組付けを行います。
- ⑥組付け完了後バンドガイドを手で開閉させてスムーズに動くか確認します。引っ掛かりがある場合は、ストライカー又はスライドテーブルの位置を調整します。



途中結束してしまう。

【チェック項目 4】

梱包物にバンドが巻付く前にバンドに切断と接着を行ってしまう場合は途中結束の場合があります。

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

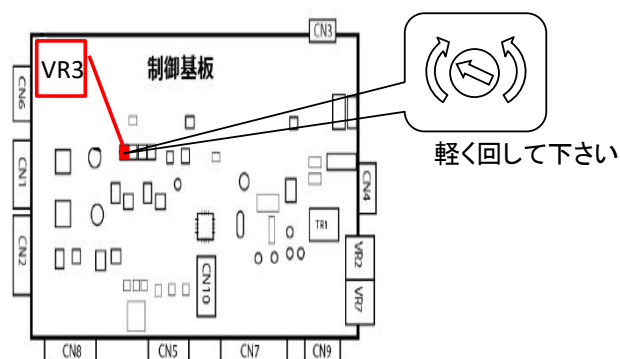
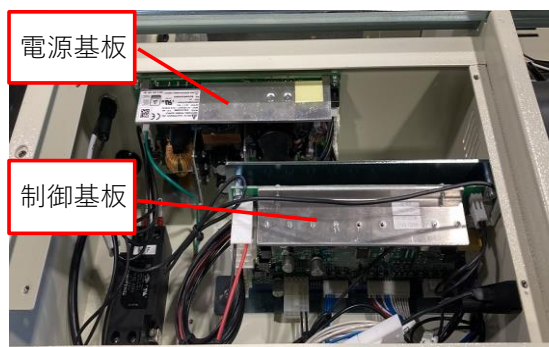


制御基板内のボリューム(VR3を調整します。)

※途中結束する場合→VRを時計方向に回す

※梱包物にバンドが巻付いてから次工程に進まない場合
→VRを反時計方向に回す

注意・機種によって基板のレイアウトが異なります。



・バンドが接着しない。

【チェック項目 5】

ヒーターに熱が来ていますか
スライドテーブル押え上面が熱い場合は
ヒーターに熱は来ています。

- 注意**・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。
- ・温度確認の際、直接手で触る、あるいは周辺に手を
近づけると火傷の原因になります。絶対に行わないでください。
 - ・ヒーターセットの交換や清掃の際、ヒーター部を手で触れる
ことが出来るまで十分に冷ましてから作業を行ってください。

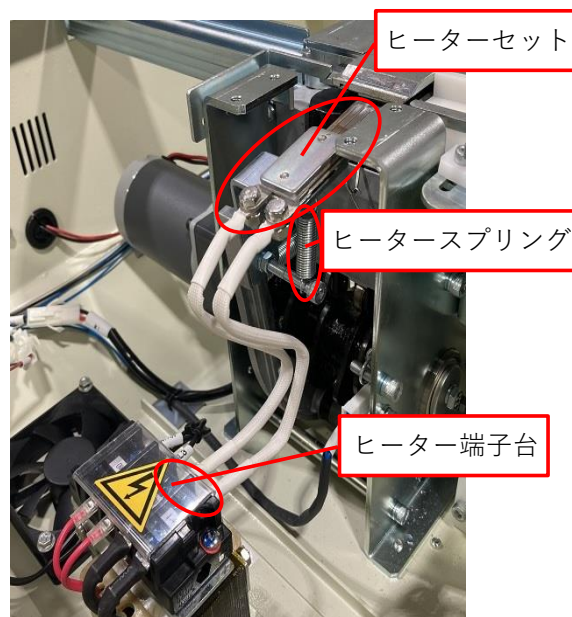
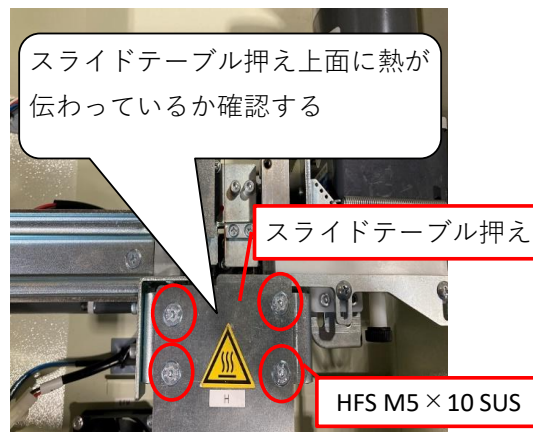
■点検・修理方法(熱が来ていない場合)

ヒーターセットを交換します。

(ヒーターの交換、掃除方法)

- ①機械の電源を切ります。
- ②スライドテーブル押え固定のネジ(HFS M5×10)4本
を緩めスライドテーブル押えを取り外します。
- ③ヒーター端子台から端子を外します。
- ④ヒーター Springs を外してヒーターセットを取り外します。
- ⑤新しいヒーターセットを取り付け逆の手順で組み上げます。
- ⑥電源を入れスライドテーブル押え上面が熱くなるか
確認します。

注意・機種によってヒータートランスのレイアウトが異なります。



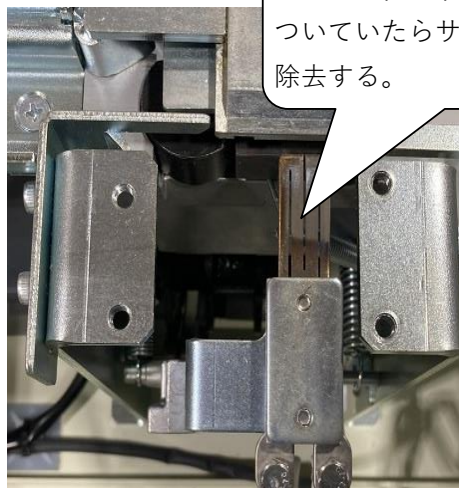
■点検・修理方法(熱が来ている場合)

注意・火傷に御注意下さい(電源OFF、余熱にも注意)

ヒータセット表面に汚れ(白っぽいカス等)がついていないか確認します。

カスが付着している場合は以下の手順で除去します。

- ①機械の電源を切ります。
- ②ヒータ表面の温度が十分に下がったことを確認します。
- ③ヒータスプリングを外します。
- ④ヒータ面(裏表)のカスをサンドペーパー等で除去します。
- ⑤ヒータ等の再度組付けを行います。
- ⑥装置電源を入れヒータが十分に温まったことを確認してからバンドの接着状態を確認します。



ヒータ面(両面)に白く汚れがついていたらサンドペーパー等で除去する。

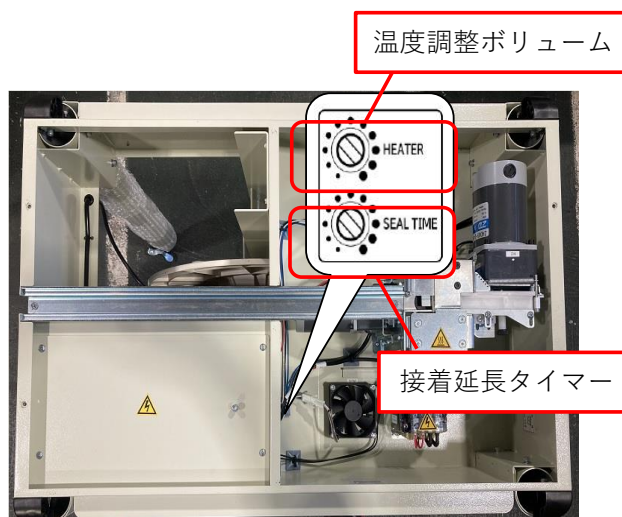
ヒータを清掃しても接着が良くならない場合

ヒータ温度調整ボリュームでヒータ温度を調整します。

注意・(温度が高すぎても接着しませんのであまり大幅に回さないで下さい。)

※引締め力を強くして使用している場合は、接着部への力が強くなり結果として接着出来ないようになります。そういった場合は接着延長タイマを伸ばして対応します。

注意・機種によってボリューム位置のレイアウトが異なります。



温度調整ボリューム

接着延長タイマー

・バンドが切れない。

【チェック項目 6】

操作パネルのリセットスイッチを押してバンドが切れますか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

■点検・修理方法(切れない場合)

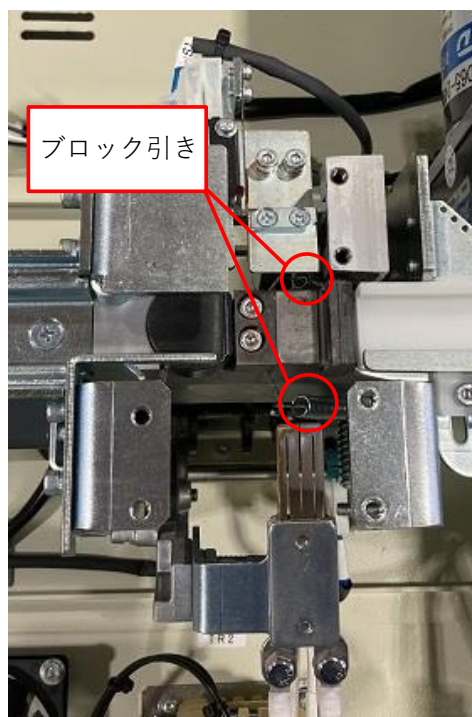
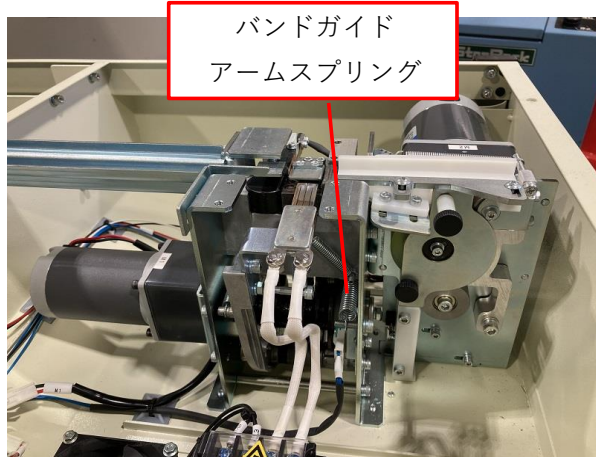
カッターの交換が必要です。

注意・電源を必ずOFFにして作業を始めて下さい。

①スライドテーブル、スライドテーブル押えを外します。

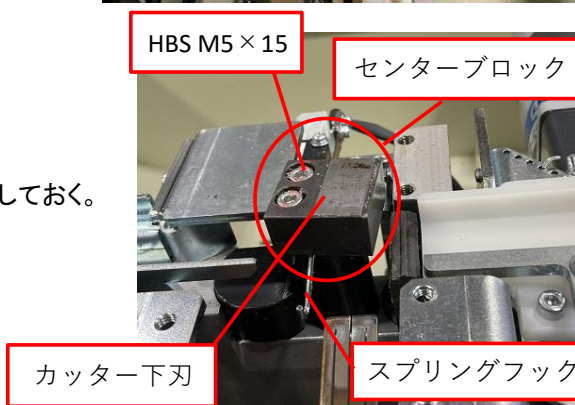
②バンドガイドアームスプリングを外します。

③ブロック引きスプリングを2ヶ所を外します。

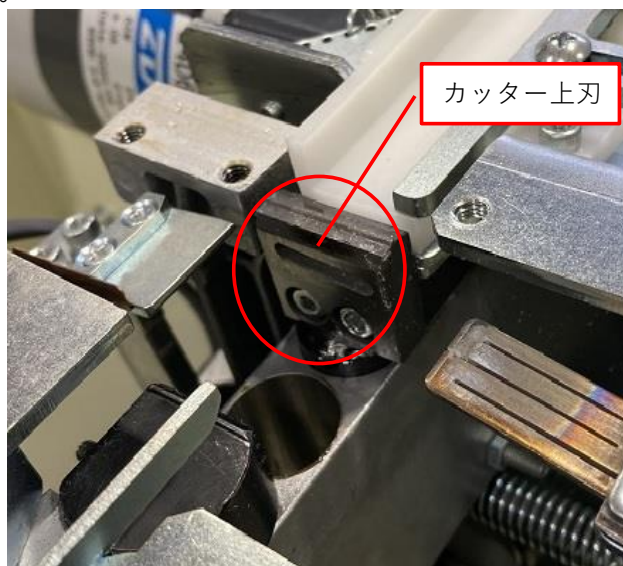


④スプリングフックとストライカーに注意してセンターブロックを上へ抜く。
※抜けない場合はバンドガイドを緩めてから外す。

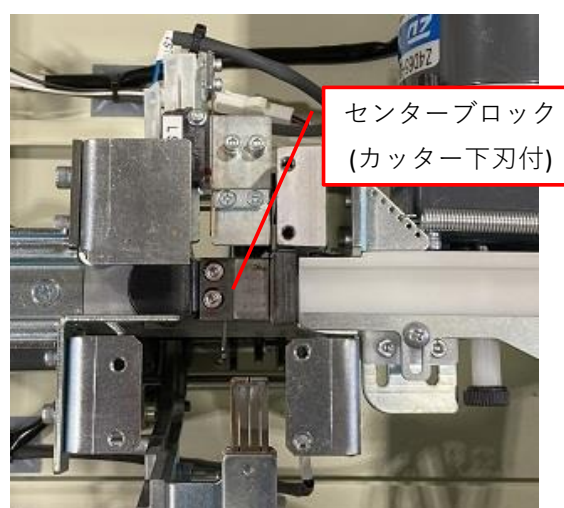
HBS M4 × 15 2本を緩めてカッター下刃を交換する。
後工程で位置調整を行うため、HBS M4 × 15は緩めたままにしておく。



- ⑤HBS M4×8 2本を緩めてカッター上刃を取り外します。
その後カッター上刃を取り付けます。



- ⑥センターブロックを組直します。



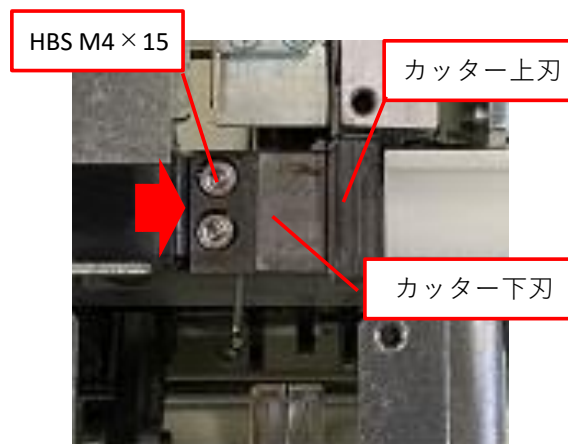
- ⑦カッター下刃をカッター上刃へ押付ながらHBS M4×15を締め付けます。

- ⑧ブロック引きスプリング、バンドガイドアームスプリングを取り付けます。

- ⑨スライドテーブル、スライドテーブル押えを取り付けます。

- ⑩バンドが切断出来るか確認します。

※バンドの切断が上手く出来ない場合は⑦を再調整して下さい。



・バンド幅の変更

【チェック項目 7】

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

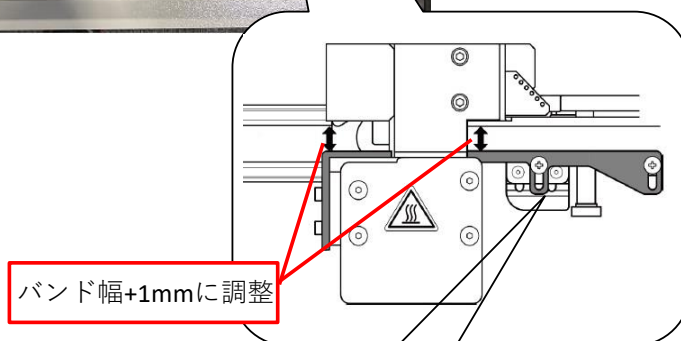
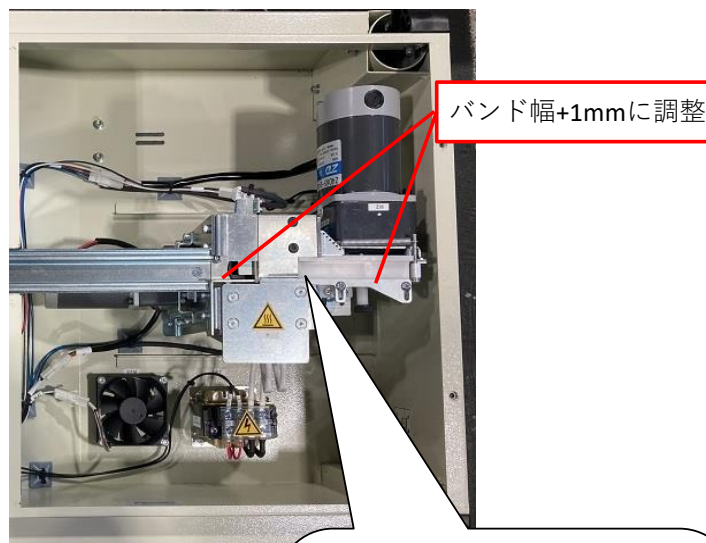
(バンド幅の変更方法)

バンド幅の変更は次の手順で行います。

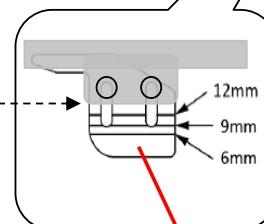
①バンド幅調整ガイド2ヶ所をバンド幅+1mm程度
に調整します。

②シューター部のシューターアジャスターを
使用しているバンド幅に合わせます。

③バンド送り動作に問題無いことを確認します。



白色の樹脂部品の端面
とマーキング線を合わせる



シューターアジャスター

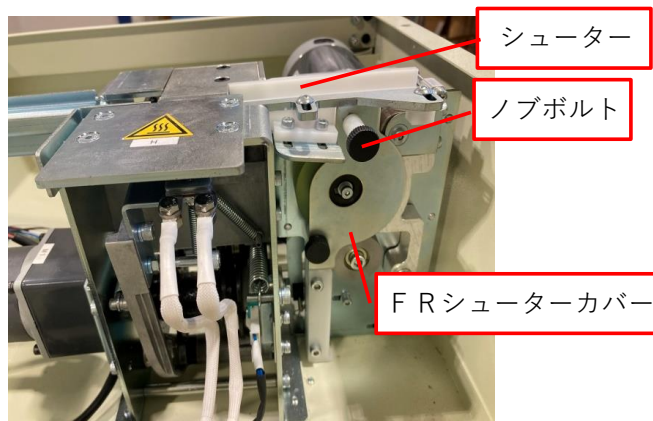
※15.5mmは外側めいいっぱい固定する。

・フィードローラの交換

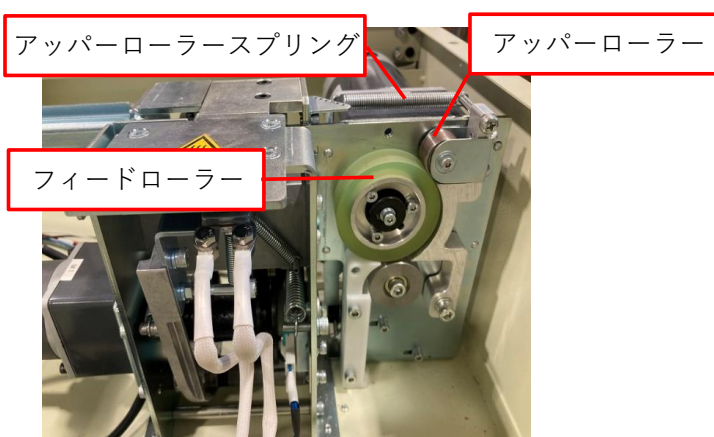
【チェック項目 8】

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

- ①ノブボルト2ヶ所を外しシューター及びFRシュータカバーを外します。



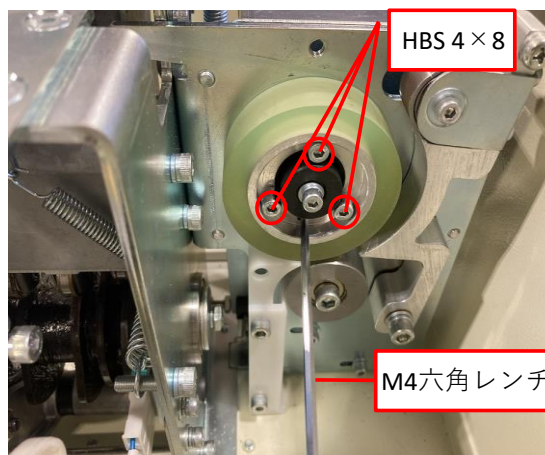
- ②アッパーローラスプリングを外しアッパーローラーを開きます。



- ③フィードローラーとベースの穴が重なり合うところでフィードローラーの回り止めとしてM4の六角レンチを通します。

- ④フィードローラーが回らない状態でHBS M4×8 3本を緩めます。

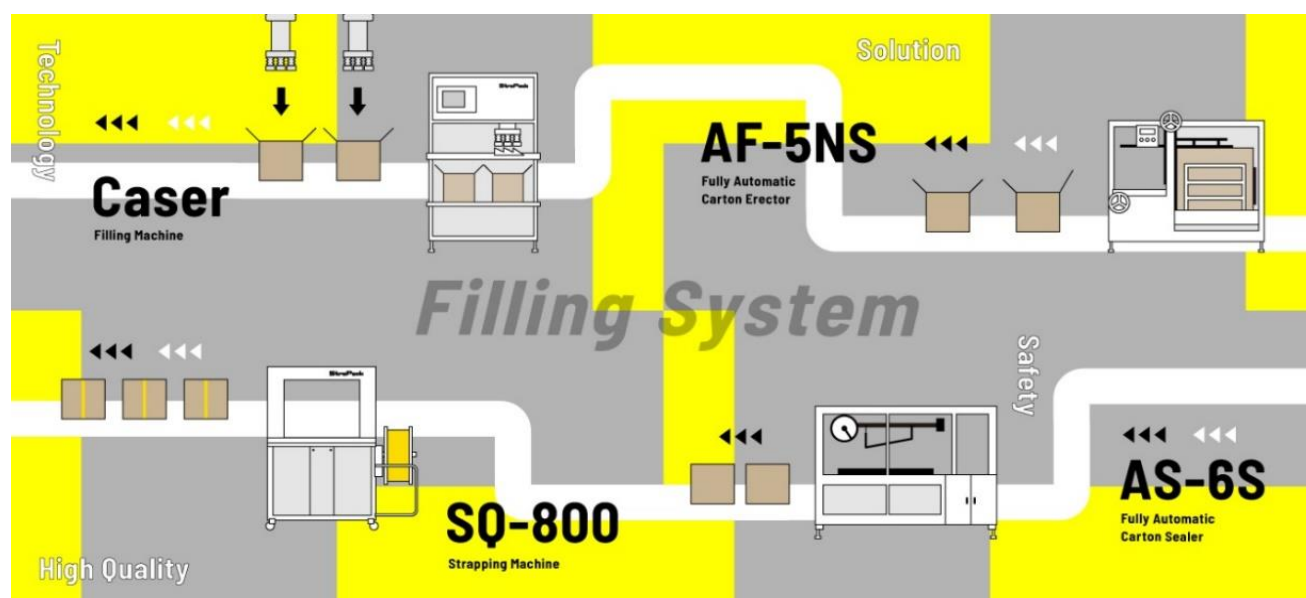
- ⑤フィードローラーを交換して逆の手順で組直す。



・営業拠点一覧

ストラパック株式会社

修理のご依頼やご相談をされる際は、お買い上げの販売店、ストラパックの営業拠点またはストラパックホームページの「修理に関するお問い合わせ」からご連絡ください。→ <http://www.strapack.co.jp/maintenance>
ご連絡の際は、製品左側面に記載の「機種」、「機械番号」および故障状態をお伝えください。



・本社	東京都中央区銀座8-16-6 銀座ストラパックビル	TEL:03-6278-1801	FAX:03-6278-1800
・カスタマーサポートセンター	横浜市神奈川区菅田町2800	TEL:045-475-7245	FAX:045-475-7252
・営業企画室	横浜市神奈川区菅田町2800	TEL:045-475-7211	FAX:045-475-7220
・札幌支店	札幌市中央区大通東9-1	TEL:011-241-6335	FAX:011-222-3728
・旭川SSP	旭川市十条通22-1-12	TEL:0166-34-9597	FAX:0166-34-9534
・仙台支店	仙台市若林区鶴代町2-11	TEL:022-232-7459	FAX:022-231-0779
・郡山営業所	福島県郡山市八山田4-125	TEL:024-938-7210	FAX:024-932-2977
・盛岡SSP	岩手県盛岡市緑ヶ丘3-4-33-102号	TEL:019-601-9531	FAX:019-601-9557
・東京支店	東京都北区浮間3-14-4	TEL:03-3965-6181	FAX:03-3558-0240
・筑波SSP	茨城県石岡市山崎1028-2	TEL:0299-46-4551	FAX:0299-46-4553
・横浜支店	横浜市神奈川区菅田町2800	TEL:045-475-7260	FAX:045-475-2260
・甲府SSP	山梨県甲府市幸町13-21	TEL:055-232-6405	FAX:055-232-6404
・高崎支店	群馬県高崎市上並榎町113-1	TEL:027-370-2181	FAX:027-370-2026
・新潟SSP	新潟市東区粟山1-20-18	TEL:025-384-8601	FAX:025-384-8605
・名古屋支店	名古屋市守山区白山1-1003	TEL:052-769-0251	FAX:052-769-0261
・北陸SSP	石川県金沢市東力4-97-10	TEL:076-292-6027	FAX:076-292-0247
・静岡営業所	静岡県焼津市三ヶ名382-1	TEL:054-628-1315	FAX:054-628-2025
・大阪支店	大阪市西淀川区佃5-5-2	TEL:06-6473-7241	FAX:06-6473-7236
・岡山営業所	岡山市北区今8-13-17	TEL:086-244-4112	FAX:086-243-3470
・高松支店	香川県坂出市府中町5573-6	TEL:0877-48-2114	FAX:0877-48-2142
・広島支店	広島市南区東出雲本町2-10-28	TEL:082-282-3011	FAX:082-283-9210
・福岡支店	福岡県太宰府市水城3-12-34	TEL:092-921-3400	FAX:092-925-2332
・鹿児島営業所	鹿児島市伊敷町4743-3	TEL:099-228-7611	FAX:099-228-7600
・沖縄SSP	沖縄県浦添市宮城3-10-1-B102	TEL:098-879-4515	FAX:098-879-4515